

2007

三宅島バイク・フェスタ（仮称）検討案

大会日程：平成19年11月16日（金）～18日（日）

NPO法人三宅島スポーツ振興会

三宅島バイク・フェスタ（仮称）は、国内のオートバイ主要メーカーの協力を得られる形で実現したいと考えており、この内容については、現在、関係機関と調整中です。皆様のご意見をホームページにお寄せください。決定次第、改めて発表するとともに、ホームページに掲載します。

I 大会の意義

1 復興の途上にある三宅島

三宅島は、東京の南南西約180kmに位置する周囲約30kmの火山島です。

紺碧の太平洋に囲まれ美しいダイビングポイントも数多く、また、約230種もの野鳥を観察できる自然豊かな“バードアイランド”です。

2000年6月に始まった噴火により、全島民が島外への避難を余儀なくされました。

4年以上もの長期にわたる避難生活の後、2005年2月にやっと帰島を果たしましたが、噴火の爪あとは依然として島の随所に残ったままです。

島の人口は、噴火前の4分の3程度に減少し、観光客も半減しました。

三宅島は依然として噴火からの復興の途上にあります。

2 復興の起爆剤としてのバイクの祭典

世界を席卷する日本メーカーのオートバイ。

その原点は、“マン島TTレース”への挑戦でした。

マン島をはじめ、世界各地で多くのバイクイベントが開催され、世界中のバイクファンを魅了しています。

日本の三宅島でも公道を使ったバイクの祭典を開催し、観光・産業の起爆剤として、一日も早い復興への足掛かりをつかんでいきます。

同時に、三宅島の自然や食を活かした様々なイベントを行い、三宅島でしか味わえないお祭りを、全島民挙げて演出します。

このバイク・イベントが継続的に開催され、将来、三宅島が“バイクの島”として名を馳せ、年間を通じて多くの人々で賑わう島となることを目指します。

3 公道での安全なライディング

言うまでもなく、オートバイが走る場所は、ほとんどが一般の公道です。

舗装された公道といえども、鉄製のマンホールや路面表示の白線ライン、落ち葉や砂利など、二輪の運転には要注意で、ライダーが自覚して事前に対処すべき要素が多くあります。

ただ単に制限速度を守れば安全というのではなく、四輪に比べ、二輪の運転には一層の「技」が要求されるのです。

この公道を使ったバイク・イベントを通じ、プロの走りを直接見て、また、イベントに参加して、オートバイの安全なライディングについて意識が高まることを期待します。

II 大会の概要

◎三宅島Tourist Pro（仮称）

三宅島Tourist pro(仮称)は、三宅島の風光明媚な海岸道や街路を利用した一般道コースを、ロードレース優勝者等の著名ライダーが、クラシックバイクやスーパーバイクなどに乗り、実際に疾走する姿を間近に見ることができるイベントです。

1 コース設定

- ・ 阿古集落内に都道を活用した2.5kmの周回コースを設定します。
- ・ 観客等の安全に万全を期するため、コースを完全封鎖します。

2 参加ライダー・参加車両

- ・ 大会の趣旨に賛同する著名ライダー等の中から、大会実行組織が参加を呼びかけます。
- ・ 参加車両は、クラシックバイク、スーパーバイク、最新モデルのバイクなどです。

3 ライディング

- ・ 参加ライダーには、事前説明会と事前走行会を開催します。
- ・ 参加ライダーは、コースの状況や、これまでの経験や持てる技術等を踏まえて、十分な安全マージンを考えて走行します。

4 交流イベント

- ・ 走行終了後にパドックエリアを開放し、参加ライダーのサイン会、参加車両の展示会、写真撮影等のイベントを行い、バイクユーザーと著名ライダーやメーカーとの交流を図ります。

◎三宅島ツーリングラリー

三宅島ツーリングラリーは、ツーリングスピードの正確性を楽しむゲーム感覚と、島民とのふれあいイベント楽しみながら島内一周するツーリング要素を加味したラリーです。

1 コース設定

- ・ 三宅島一周都道（約30km）において、集落間を中心に数区間のステージを設定し、インデックススピードによるラリーを実施します。
- ・ 集落通過区間はリエゾン（移動区間）とし、途中にイベント会場を設けます。

2 参加ライダー・参加車両

- ・ 一般募集で、ナンバー付き車両とします。

3 ルール

- ・ ステージ毎にあらかじめインデックススピードを自己申告により決めてスタートし、ゴール後の平均スピードがよりインデックスに近い者に高いポイントを与えます。
- ・ インデックススピードは、法定の規制速度内で安全に走行できる範囲で設定します。
- ・ 参加者は必ずイベントポイントに立ち寄るルールとすることで、島民と参加者とのふれあいの機会を設けるとともに、全島挙げたイベントとします。

※ 大会の開催に当たっては、大会関係者による警備、交通整理等、十分な安全対策を講じていくほか、万が一に備え、救急車や救急ヘリの配備、医者や看護師等の待機など特別な体制を講じます。

◎空港ドラッグレース

空港ドラッグレースは、運用制限中の三宅島空港を利用（調整中）して、1/4マイルの直線タイムを競うレースであり、MFJ規則に基づき実施します。また、このイベントを通じて、離島に重要な空港の役割や施設についての理解を深める機会とします。

1 コース設定

- ・ 空港の滑走路に1/4マイルを競う本格レースコースを設定します。

2 参加者・参加車両

- ・ 国内レースのトップカテゴリのプロストックバイク（PB）と、ナンバー付きのスーパースポーツバイク（SS）の2つを検討中です。
- ・ PBクラスは10台程度、SSクラスは20台程度となります。

3 レース規則

- ・ 参加ライダー、参加車両、コース設定等の基準については、MFJ規則を適用します。

4 表彰

- ・ 優勝者には、三宅島ドラッグレース杯として賞金を贈呈します。

◎バイク・パレード

バイク・パレードは、著名ライダー等と一緒に島内一周をパレード走行するイベントです。

1 コース設定

- ・ 三宅島一周都道（約30km）を、白バイの先導で一周します。
- ・ 参加ライダーは、道路交通法等の諸法令を遵守して走行します。
- ・ パレード通過中は一周都道を封鎖し、順次封鎖解除していきます。

2 参加ライダー・参加車両

- ・ 一般参加で、ナンバー付き車両とします。

◎三宅島スタンプラリー

三宅島スタンプラリーは、島内の各観光ポイント等に設置したスタンプを、ライダーが自由に回って集めることにより、三宅島の自然や歴史、食を満喫できるラリーです。

◎災害救助トライアル・デモンストレーション

災害救助トライアル・デモンストレーションは、噴火災害からの復興をイメージし、災害現場を模したトライアル特設会場を設けて行う、トライアルのデモンストレーションです。

◎アトラクション

島の食材を利用した屋台村、盛大な歓迎パーティー、郷土芸能などのアトラクションを実施します。

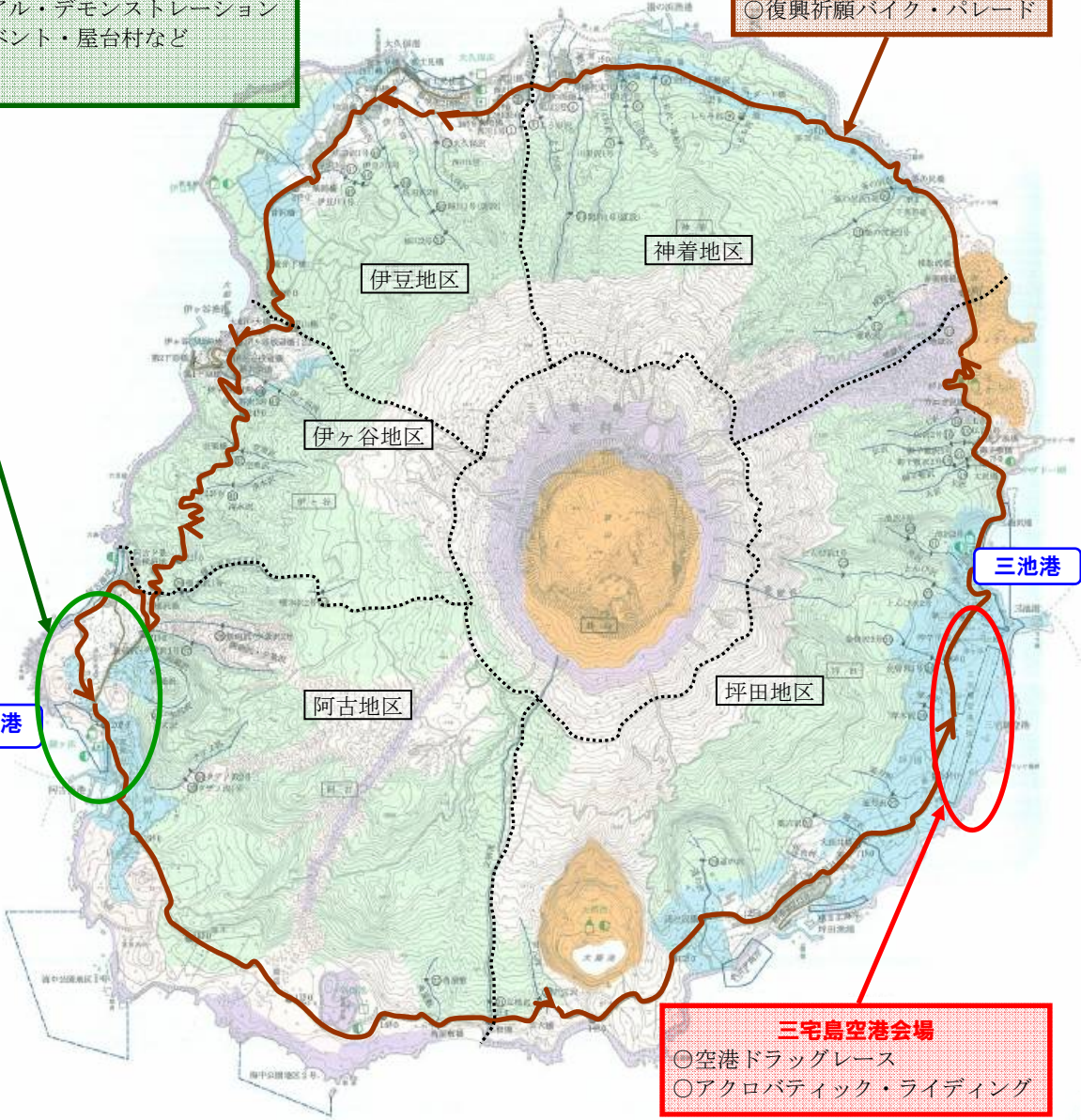
三宅島バイク・フェスタ イベント地図

阿古地区会場

- 三宅島Tourist Pro (仮称)
- 災害救助トライアル・デモンストレーション
- 前夜祭・交流イベント・屋台村など
- 大会本部

一周都道

- 三宅島スタンプラリー
- 三宅島ツーリングラリー
- 復興祈願バイク・パレード



鑄ヶ浜港

三池港

三宅島空港会場

- 空港ドラッグレース
- アクロバティック・ライディング

※ サポーターの募集について
 三宅島スポーツ振興会では、三宅島でのバイク・イベントを支援していただけるサポーターを募集します。詳しくは、ホームページを御覧ください。

※ 来島に要する費用について
 大会期間中の来島者へは、宿泊、運賃、バイク輸送費等を含めたパック料金の設定を検討しています。詳細が決定次第、ホームページに掲載します。

※ 参加者の募集について
 ツーリングラリーへの一般参加者の募集は、ルール等の詳細が決定次第、ホームページに掲載します。